

# 「震災・原発の経験・教訓、復興状況伝承事業」開催要項

## (～ジャーナリストスクール開催事業～)

- 1 事業目的 未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において復興・再生のために活躍している個人、団体に対し、これまでの努力や成果、今後の夢や目標等について取材をし、現役新聞記者の指導を受けながら新聞にまとめ、発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考える機会とする。
- 2 主催 福島県、ふくしまの学び実行委員会
- 3 共催 郡山市教育委員会
- 4 特別協力 福島民報社 福島民友新聞社
- 5 後援 福島県教育委員会 福島県小中学校長会 福島県PTA連合会
- 6 日時・会場  
事業内容等  
令和8年8月6日(木) 【開校式】東日本大震災・原子力災害伝承館  
〒979-1401 福島県双葉郡双葉町大字中野字高田 39  
TEL: 0240-23-4402 FAX: 0240-23-4403  
<郡山駅東口発着バス利用可能>  
◇池上彰氏からのビデオメッセージ  
【取材】※相双地区、下記【取材先】参照  
◇各施設、企業への取材活動  
令和8年8月9日(日) 【新聞作成・編集】郡山市市民交流プラザ(ビッグアイ)  
〒963-8002 福島県郡山市駅前2丁目11番1号  
TEL: 024-922-5544 FAX: 024-935-8792  
◇記事原稿の修正  
◇新聞編集・整理  
令和8年8月16日(日) 【交流会・発表会・閉校式】郡山市市民交流プラザ(ビッグアイ)  
〒963-8002 福島県郡山市駅前2丁目11番1号  
TEL: 024-922-5544 FAX: 024-935-8792  
◇子どもたちによる新聞の発表  
◇池上彰氏との交流、講評、講話  
<特別講師>ジャーナリスト・教授 池上 彰 氏  
<講師>福島県立相馬高等学校 講師 武内 義明 氏  
福島民報社・福島民友新聞社の記者等  
※本事業の卒業生・参画者によるサポート
- 7 取材対象 復興・再生に向け邁進している個人及び団体
- 8 受講者 県内の小学5年生から高校生まで  
※3日間の講座については、全日参加が原則であり、保護者の同意が必要  
《受講人数》 30名程度  
《受講者選考》 受講者申込多数の場合は、どのような事を学びたいか、どんな新聞を作りたいかを受講申込フォームに明記させ、それを基に書類審査を行い、決定する。  
《受講料》 3,500円(食事、飲料、保険料等を含む)
- 9 申込方法 指定応募フォームから申込(県生涯学習課HPやチラシ、ポスターの二次元コードから)
- 10 発表会参観者 120名程度を募集予定

### 【取材先】

- ①福島県復興祈念公園
- ②FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA
- ③株式会社伊達重機
- ④かもめミライ水産株式会社
- ⑤in the Rye 株式会社
- ⑥福島国際研究教育機構(F・REI)